

野菜不足の若者に食べてほしい

武庫川女子大生
大阪の大森屋と

低カロリーで栄養も考慮

新商品はベジかけ「ゆず香る野菜たっぷり」の2種類。
(税込み270円)と「スープ」(同194円) ベジかけは、管理栄養士

販売を始めており、学生らは「野菜不足の若い人に食べてほしい」と話している。
(前川 茂之)

ふりがけとスープ開発



ふりがけと野菜スープを「大森屋」と共同開発した武庫川女子大学の学生ら＝西宮市役所

養士を目指す学生らの提案で、女性に不足しがちな栄養素のビタミンA、鉄分、食物繊維などをふんだんに盛り込んだ。赤シソやゴボウ、ニンジンなどの豊かな風味が特長という。

スープは1日に必要な野菜量の3分の1を入れ、低カロリーで競合他社の商品よりもあっさり味に。その分、若い女性に人気のあるユズを使ってさわやかな香りが味わえるという。

メインターゲットは10、20代。学生6人が若者の感性を生かして、昨年6月から同社と開発を進めてきた。

同大3年の松原奈美さん(20)は「一人暮らしの夜遅い食事でもカロリーを気にせず食べられるはず。ふりがけはハスタやサラダにも合うと思う」と出来栄に自信を見せていた。